

## 問題 000 財務諸表分析

次の記述のうち、財務諸表分析に照らして妥当なものはどれですか。

1. 当期の総資本利益率が前期と比較して低下しましたが、自己資本利益率の低下はさらに大きく、配当が困難になりました。原因は借入金の増加に伴う支払い利息の増加です。
2. この数年度を比較すると、売上高は順調に伸びてきていますが、売上総利益率は逆に低下しています。原因は支払利息などの営業外費用の増加です。
3. 売上利益率は伸びているにもかかわらず、総資本利益率は相変わらず低い状態にあります。原因は、売上高の伸び以上に、負債を含めた総資本が増加しているためです。
4. 流動比率と当座比率（酸性試験比率）の差が開いてきて、資金繰りが苦しくなってきた。原因は、借入金に減少により流動負債が減少しているためです。

（国税専門官試験 改題）

## 問題 000 の解答と解説

1. × 他人資本である借入金の増加は自己資本利益率を上昇させ、低下させることはありません。
2. × 売上総利益は売上高から売上原価を控除したものですから、支払利息などの営業外費用の増加とは無関係です。
3. ○ 問題文にある総資本利益率は、総資本事業利益率（ROA）と同様に考えると、以下のように式を作り変えることができるはずです。

$$\text{総資本利益率 (ROA)} = \frac{\text{利益}}{\text{売上高}} \times \frac{\text{売上高}}{\text{総資本}}$$

売上利益率                      総資本回転率

この式が導出できれば、問題文の内容の関係がそのままあてはまります。

4. × 流動比率と当座比率（酸性試験比率）の差は、棚卸資産などの大きさです。

## 問題 000 財務諸表分析

ある企業の貸借対照表が次のように示されているとき、当座比率と固定比率の組み合わせとして正しいものはどれですか。ただし、各比率の算出にあたっては少数第3位を四捨五入し百分率で示してください。

貸借対照表 (単位：百万円)

資産	金額	負債及び純資産	金額	当座比率	固定比率
現金預金	600	支払手形	400	1. 94%	154%
受取手形	400	買掛金	900	2. 94%	208%
売掛金	1,000	社債	1,200	3. 154%	94%
商品	700	資本金	2,000	4. 154%	208%
建物	900	資本準備金	500	5. 208%	94%
土地	2,200	未処分利益	800		
合計	5,800	合計	5,800		

（地方上級 改題）

問題 000 の解答と解説

計算を行なうために、実際の勘定科目にあてはめることができなければなりません。当座資産、流動負債、固定資産、自己資本の範囲を確認しましょう。

当座資産 = 現金預金 600 + 受取手形 400 + 売掛金 1,000 = 2,000

流動負債 = 支払手形 400 + 買掛金 900 = 1,300

固定資産 = 建物 900 + 土地 2,200 = 3,100

自己資本 = 資本金 2,000 + 資本準備金 500 + 未処分利益 800 = 3,300

$$\text{当座比率} = \frac{\text{当座資産}}{\text{流動負債}} = \frac{2,000}{1,300} \approx 154\%$$

$$\text{固定比率} = \frac{\text{固定資産}}{\text{自己資本}} = \frac{3,100}{3,300} \approx 94\%$$

よって、正解は3になります。

問題 000 財務諸表分析

A社の決算財務諸表(要旨)に基づいて、以下の設問に答えてください。

貸借対照表 (単位:百万円)

資産	金額	負債及び純資産	金額
現金預金	170	支払手形	250
売掛金	240	買掛金	210
売買目的有価証券	160	短期借入金	140
棚卸資産	230	長期借入金	460
建物	300	資本金	500
機械装置	200	資本剰余金	60
土地	410	利益剰余金	180
投資有価証券	90		
合計	1,800	合計	1,800

損益計算書 (単位:百万円)

科目	金額
売上高	3,500
営業費用	3,100
営業利益	400
営業外収益	30
営業外費用	10
経常利益	420
(以下省略)	

<設問-1>

A社の流動資産として最も適切なものはどれですか。

【解答群】

ア. 28.3% イ. 69.8% ウ. 95% エ. 133.3%

<設問-2>

A社の固定長期適合率として最も適切なものはどれですか。

【解答群】

ア. 78.0% イ. 83.3% ウ. 105.3% エ. 120.0%

<設問-3>

A社のROAは24.0%でした。A社の総資本回転率として最も適切なものはどれですか。なお、ここではROAの算出にあたっては、分子を事業利益ではなく簡便方として経常利益を使います。

$$\text{ROA} = \frac{\text{経常利益}}{\text{総資本}}$$

【解答群】

ア. 1.8回 イ. 1.9回 ウ. 2.0回 エ. 2.2回

(中小企業診断士 改題)

## 問題 000 の解答と解説

## &lt;設問-1&gt;

流動資産 = 現金預金 170 + 売掛金 240 + 売買目的有価証券 160 + 棚卸資産 230 = 800

流動負債 = 支払手形 250 + 買掛金 210 + 短期借入金 140 = 600

$$\text{流動比率} = \frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}} = \frac{800}{600} \doteq 133.3\%$$

したがって、エが正解です。

## &lt;設問-2&gt;

固定資産 = 建物 300 + 機械装置 200 + 土地 410 + 投資有価証券 90 = 1,000

固定負債 = 長期借入金 = 460

自己資本 = 資本金 500 + 資本剰余金 60 + 利益剰余金 180 = 740

$$\text{固定長期適合率} = \frac{\text{固定資産}}{\text{自己資本} + \text{固定負債}} = \frac{1,000}{460 + 740} \doteq 83.3\%$$

したがって、イが正解です。

## &lt;設問-3&gt;

問題文には、計算式まで出ていますが注意しなければなりません。ROA で用いられる「総資本」とは期首と期末の平均総資本です。したがって、貸借対照表の総資産 1,800 は期末総資本であり、別個に平均総資本を求めるためにあえて計算式が問題文に入っていると推測されます。

$$\text{ROA} = \frac{\text{経常利益}}{\text{総資本}} = \frac{420}{\text{総資本}} = 24\% \quad \text{より、}$$

$$\text{総資本 (平均)} = 1,750$$

$$\text{総資本回転率} = \frac{\text{売上高}}{\text{総資本}} = \frac{3,500}{1,750} = 2 \text{ 回}$$

したがって、ウが正解です。

◆ただし、データがない場合は、総資本として期末資本を用います。